

## ドイツ自転車市況－2014

### 1. 国内生産及び出荷

ドイツ二輪産業協会(ZIV)によると、2014年ドイツ国内の自転車出荷台数は前年比7.9%増の410万台となり、2011年以来となる400万の大台を超えた。金額で見ると自転車販売部門の市場規模は前年比9.1%増の21億6,000万ユーロ(2,873億円)となり、天候不順などにより低迷した前年から一転し、2014年の出荷台数と販売金額は前年より共に増加する結果となった。しかしながら、国内の自転車生産台数については、前年比0.9%減の214万台とわずかながら減少した。

2014年の全業態の平均販売価格については、前年比1.5%増の528ユーロ(70,224円)となり、同価格は年々上昇を続けており、2014年は過去最高額となった。この好調の主な要因は、オランダ市場と同様にドイツ自転車市場においても、電動アシスト自転車(EPAC)ブームによる高額なEPACの販売台数増加が続いているためとみられる。

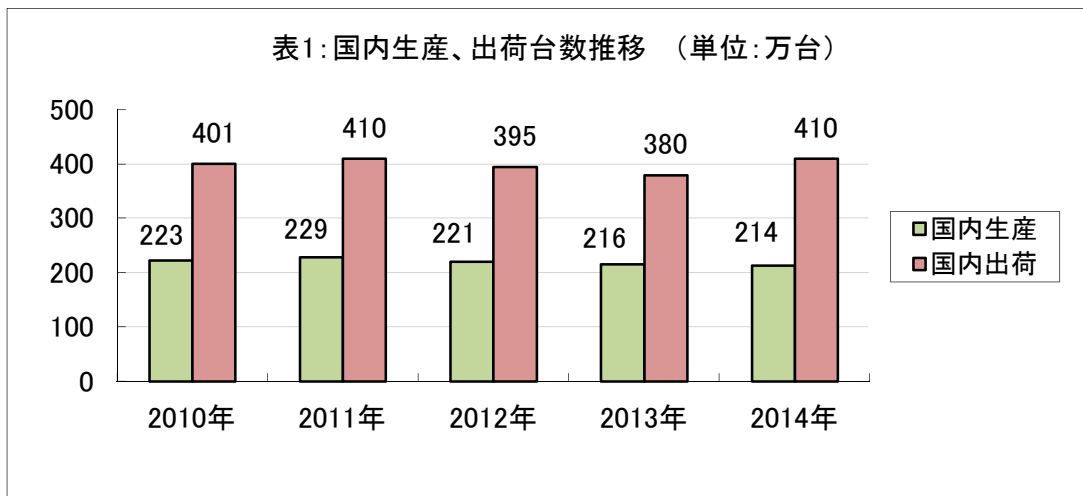


表2: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2010	2011	2012	2013	2014
全業態平均販売価格	460	495	513	520	528

### 2. 輸出入

2014年の輸出台数は前年比7.0%減の119万台となり、4年続けて増加してきた輸出台数は減少に転じた。輸出の大半は欧州諸国向けであり、輸出上位10カ国のうち上位4カ国は前年と同じである。最多輸出先のオランダは前年比11.4%増の22.5万台と再び増加し、同国で全体の2割近くを占めている。他にはオーストリアが同比5%増の12.5万台、イタリアは同比16.7%増の4.9万台等が前年より増加した一方、ポーランドは前年比9.6%減の14.2

万台、フランスは同比 10.3%減の 8.7 万台、ベルギーは同比 25.3%減の 6.5 万台及びスイスは同比 14.3%減の 4.8 万台等と減少している。特にデンマークは前年比 49%減の 4.9 万台と大幅な減少となった。因みに前年に上位 10 カ国に顔を出したロシアは、3.8 万台のスペインと入れ替わり再び姿を消している。

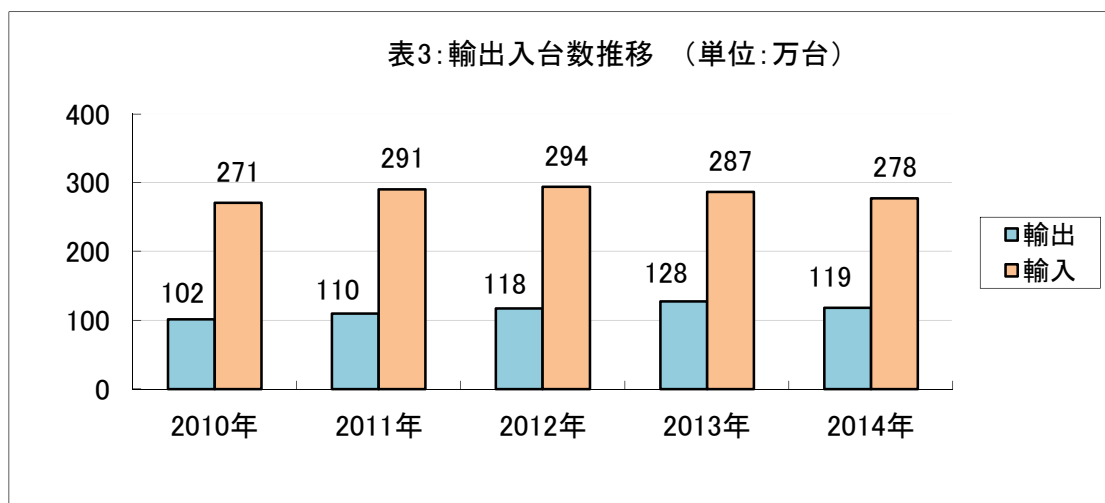


表 4: 輸出台数上位 10 カ国 (単位:千台)

国名	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年/比率(%)	
オランダ	212	215	221	202	225	19.0%
ポーランド	60	73	82	157	142	12.0%
オーストリア	107	119	112	119	125	11.0%
フランス	189	168	144	97	87	7.0%
ベルギー	55	57	65	87	65	5.0%
デンマーク	52	68	87	96	49	4.0%
イタリア	39	41	39	42	49	4.0%
スイス	52	52	51	56	48	4.0%
スペイン	45	35	35	31	38	3.0%
英国	22	25	28	32	31	3.0%
その他	188	246	316	353	331	28.0%
計	1,021	1,099	1,180	1,272	1,190	100.0%

2014 年の輸入台数は前年比 3.1%減の 278 万台となり 2 年続けて減少した。輸入上位 10 カ国中、9 カ国は前年と同じ顔ぶれである。アジア地域では現在の最多輸入先のカンボジアは前年比 14.2%減の 52.4 万台に減少したが、依然として最多輸入先であり、この一国だけ

で全輸入の2割近くを占める。かつての最多輸入先の台湾は同比8.4%減の24.1万台の第4位となり、2012年に首位を明け渡して以降、減少傾向が続いている。その他、年々増加傾向にある中国、前年より一気に7倍も増加し9万台となったスリランカが上位に入った。

欧州地域でみるとリトアニアは前年比58.3%減の10万台と半分以下に、ルーマニアは前年より3割減の8.9万台と特に両者落ち込みが目立った。一方でポーランドは同比18.4%増の30.9万台、オランダが同比20.3%増の13.6万台となり、更にブルガリアは前年比51.2%増の24.2万台と大きく増加する等、上位の顔ぶれは同じようでも、中東欧地域を中心に国により大きな増減が依然としてみられる。

表5: 輸入台数上位10カ国 (単位:千台)

国名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年/比率(%)	
カンボジア	89	110	462	611	524	19.0%
ポーランド	254	275	296	261	309	11.0%
ブルガリア	88	149	178	160	242	9.0%
台湾	389	337	298	263	241	9.0%
オランダ	236	283	129	113	136	5.0%
チェコ共和国	151	127	114	125	128	5.0%
中国	75	79	90	113	120	4.0%
リトアニア	148	266	256	240	100	3.0%
スリランカ	39	※	※	12	90	3.0%
ルーマニア	142	127	166	134	89	3.0%
その他	1,111	1,153	947	733	803	29.0%
計	2,722	2,906	2,936	2,765	2,782	100.0%

※その他に含まれる

### 3. 販売業態別シェア

販売業態別シェアについては、自転車小売専門店が前年と同じ70%を維持し、最多のシェアを占めている。ドイツの消費者はEPACをはじめ付加価値の高い商品を購入する場合は、高品質の商品を多く扱う自転車小売専門店にて、専門知識を持った従業員から適切なアドバイスを受け、試乗等による十分な吟味の上、購入する傾向が依然として強いとみられる。

一方、デパート、スーパーマーケットやホームセンター等の量販全体のシェアは昨年より1ポイント減少し19%となり2割を割り込んだ。また、通販・インターネットは昨年より1ポイント増加し11%となり年々着実に増加している。この増加は昨年同様、インターネットのオンラインショップによる自転車、部品・付属品のネット販売増分とみられる。

表 6: 販売業態別シェア

販売形態	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
自転車小売専門店	69.0%	69.0%	70.0%	70.0%	70.0%
デパート・DIY店・小型スーパー	25.0%	23.0%	21.0%	20.0%	19.0%
通信販売・インターネット	6.0%	8.0%	9.0%	10.0%	11.0%

#### 4. 車種別販売シェア

車種別販売シェアについては、最多シェアのトレッキング車は4年続けてシェアが減少していたが、2014年は前年より0.5ポイント増となった。また、シティ車とマウンテンバイク(MTB)に独道交法に基づく装備(ライト、リフレクター及び泥除け等)を出荷段階で装着したATBは前年より1ポイント減少となったが、MTB、レース用自転車等のスポーツ車や子供車、幼児車は前年同様のシェアにとどまった。EPAC等の電動自転車は前年より1ポイント増やし12%となり、過去5年間でシェアを倍以上に増やし確実に成長しており、車種別販売シェアでMTBを追い越し第3位の地位を固めつつある。

表7: 車種別販売割合

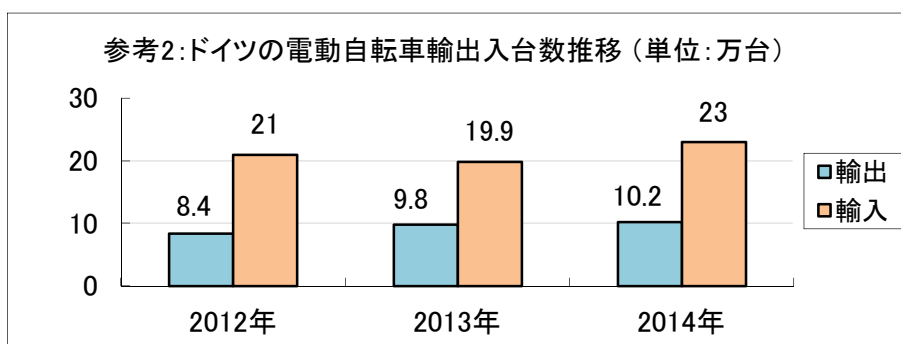
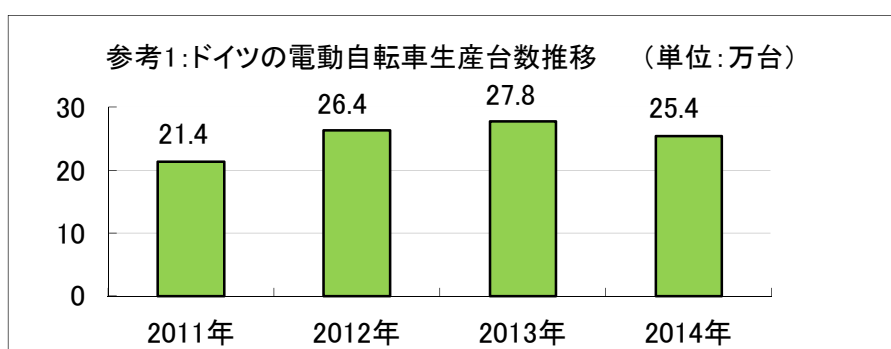
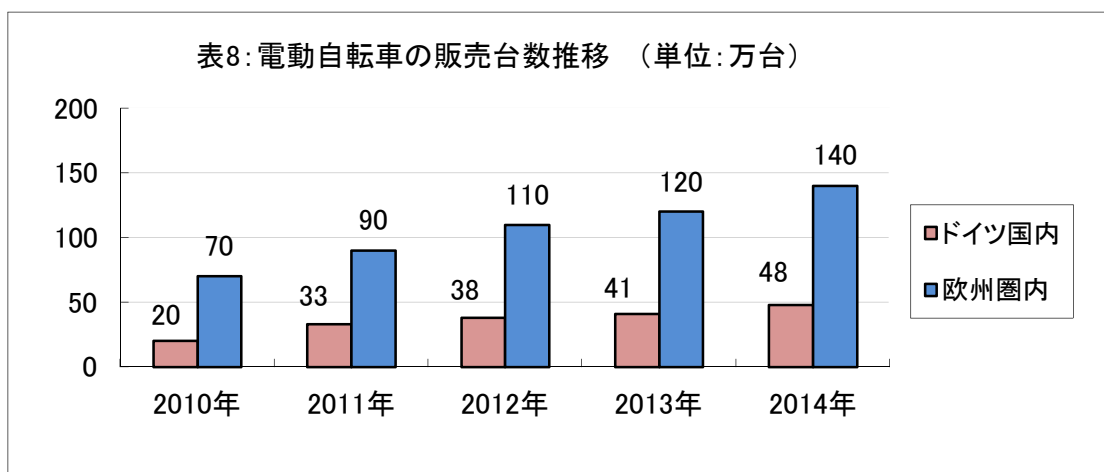
車種	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
トレッキング車	35.0%	34.0%	33.0%	32.0%	32.5%
シティ車	25.0%	25.0%	24.5%	23.0%	22.0%
ATB	8.0%	8.0%	9.5%	9.0%	8.0%
MTB	11.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
子供車	3.5%	3.5%	4.0%	4.5%	4.5%
幼児車	2.5%	2.0%	2.0%	3.0%	3.0%
オランダ型及びツーリング車	3.0%	3.0%	2.5%	3.0%	3.0%
レース用自転車/フィットネスバイク	6.0%	5.0%	4.0%	4.0%	4.0%
電動自転車	5.0%	8.0%	10.0%	11.0%	12.0%
その他	1.0%	1.5%	0.5%	0.5%	1.0%

#### 5. 電動自転車 - EPAC と Speed Pedelecs

現在、ドイツ全土で160万台余りの電動自転車(E-Bikes)が利用中と推測されるが、ここで言う電動自転車とは、その95%以上はモーター出力250Wまで、アシスト速度は25km/hまでの電動アシスト自転車(EPAC)のことであり、より高いモーター出力と補助速度の「Speed Pedelecs」等は全体の5%に満たない数値であるとZIVは述べている。

2014年ドイツの電動自転車の販売台数は前年比17.1%増の48万台となり、過去5年間、順調に増加している。2014年のドイツ国内の電動自転車の生産台数は前年比8.6%減の25.4万台と軟調であったが、同車種輸出台数は同比4.1%増の10.5万台、同じく輸入台数は15.6%増の23万台と輸出入ともに増加した。因みに輸入先の7割近くはEU諸国からであり、残りの3割がアジア地域からである。輸出先はEU諸国向けが8割、更にその他の欧州地域が1割強を占め、殆どが欧州向け輸出となっている。

ドイツの電動自転車については、2014年の生産は停滞気味とはいえ、2ケタの増加率を見せた同車種販売台数やEPACブームによる過去最高額の平均販売価格等から見て、ドイツ市場において電動自転車の需要は堅調であり、EPACを主体とするブームはまだ続くとみている。更に欧州地域全体における電動自転車の販売台数は、前年比16.7%増の140万台に達したとし、EPAC販売で先行するドイツやオランダに次いで、スイスやオーストリア等の起伏の多い中部、従来から一般自転車の有力市場であるフランスやイタリア等、欧州各地へもブームが広がることが期待されている。



Speed Pedelecs については、現在、EPAC ブームに沸く独・蘭市場よりもスイスなどで普及が先行している印象もあるが、ドイツにおいても、電動 MTB 等のスポーツ車タイプの EPAC を積極的に手掛けるいくつかのブランドが、Speed Pedelecs を商品に加える動きが見られようになった。下記に主なブランドの商品を抜粋したが、ボッシュの電動ユニット装着車が比較的多く、概ねモーター出力 350W、アシスト速度 45km/h までの仕様が多いようである。販売価格帯は 3,000~4,000 ユーロ (399,000~532,000 円) が中心で EPAC を更に超える高額商品である。独市場における Speed Pedelecs の今後を占う上では、特に電動 MTB タイプの動向に注視が必要と思われ、本年 8 月に開催を控える世界最大の自転車展・ユーロバイク展において各社からどのような新商品が現れるのか大変注目される。

参考3: ドイツの主なSpeed Pedelecs

ブランド	車名(車種)	電動ユニット(出力)	価格(€)
BULLS (ZEG)	E45 Outlwa (MTB)	Green Mover (500W)	4399
Haibike (Accell)	XDURO FS RS 27.5 (MTB)	Bosch (350W)	4999
Kreidler (Cycle Union)	Vitality Select Performance Speed(スポーツ車)	Bosch (350W)	3299.9
Victoria (Hartje)	e-Spezial 10.7 (トレッキング車)	Bosch (350W)	3399
GRACE (MIFA)	MX 400wh (MTB)	Bosch (350W)	3299
Kalkhoff (Derby cycle)	Integrale S10 (スポーツ車)	Impulse (350W)	3999
Corratec	E-Power Two Circle Performance (MTB)	Bosch (350W)	-
Diamant (TREK)	825+ Herren (スポーツ車)	Bosch (350W)	-
riese und mueller	Delite dualdrive HS (スポーツ車)	Bosch (350W)	-
Stevens	E-Triton 45 (トレッキング車)	Bosch (350W)	-

※各社カタログ、ホームページより抜粋



MTB タイプの Speed Pedelecs (左:Grace、右: Haibike)

以上

統計出所: ドイツ二輪産業協会 (ZIV)

写真: EUROBIKE2014 にて取材撮影